



発行責任者
校長 有崎 美紀

自ら伸びる



府中央小学校ホームページ <http://chuosho.fuchu-town.ed.jp>

心温まる話

コミュニティ・スクール事務局の竹原さんから聞いたお話です。

6月のある朝、一人のおばあさんが荷物をもって緑ヶ丘の坂道を歩いておられたそうです。そこへ、中央小の高学年と思われる子供が通りかかりました。その子はランドセルを背負い、手には習字道具をもっていったそうです。きっと、学校へ行く途中だったのでしょう。すると、その子は自分のもっていた習字道具を持ち換えて、「お荷物もちましようか」とおばあさんに声をかけたとのことです。そのおばあさんは、その子の心優しい言葉に大変感激され、学校に連絡しようかと悩まれた末、CSサポーターの竹原さんに思いを伝えられたとのこと。おばあさんによると、「これまでも中央小の子はよくあいさつをしてくれるけど、『荷物を持ちましようか』と声をかけてもらったのは初めて」とのことでした。

きっと、この子は、誰かに褒められようとか、誰かが見ているからいい恰好をしようと思っていたわけではありません。おばあさんが荷物を持って歩く姿を見て、「重たそうだな。手助けしよう。」と思い、声をかけたのだと思います。

このお話を聞いて、この学校には、美しい心をもった子がいるのだなと、とても嬉しい気持ちになりました。学校が立派だというのは、校舎が立派だということではありません。そこで暮らしている人たちの心が温かいということです。みんなが協力し、助け合うことを良しとする暮らしをしているからこそ、温かい心が育っているのでしょう。

自分を育てるのは自分だということをお子に教えてもらいました。

大切な命を守るために～心肺蘇生講習会～

6月10日（月）に府中町消防本部の方にご指導いただき、心肺蘇生講習会を行いました。水泳の授業を見守ってくださるCSサポーターさんも講習会に参加してくださいました。17日（月）から始まった水泳の授業。CSサポーターさんの協力もいただきながら、安全に授業を進めていきたいと思ひます。



水泳学習が始まりました

6月17日（月）から水泳の授業が始まりました。初日の3・4時間目には1年生の授業もあり、プールの約束や入水の仕方などについて学んだ後、水に慣れることを目標に学習を行いました。小学校でのプールに初めて入った1年生の子供たちは、「楽しかった。」「小学校のプールは大きいね。」と大満足でした。



「じまんの俳句」令和6年度第1回代表作品

新学期 二人でうつむく クラスがえ

六年 児童

新年度になったものの、クラス替えてすっかりした気持ちを表した俳句です。「二人でうつむく」という表現から、「一緒のクラスになれたらいいな」と期待してクラス発表を見たものの、「悲しい」「悔しい」という気持ちを表す言葉を使わなくてもうつむいた様子を表現するだけで、十分に気持ちを伝えることができます。俳句は、嬉しい、楽しいことばかりではなく、悲しみやつらいという気持ちを、表すのもいいものです。

春うらら ひなたぼっこ ぼくの犬

四年 児童

「春うらら」の五音の季語を使うだけで、明るい日差しの温かな春の様子が伝わってきますね。温かな日差しの中で、気持ちよさそうにひなたぼっこをしている犬の様子も見えてきます。
また、下の句で「ぼくの犬」と言い切っていることから、詠み手の児童が、この犬をととても大切にしていることもわかりますね。みなさんも「春うらら」のような季語を使ってみてはどうでしょう。

ピカピカの こうしやと上ばき おそろいだ

二年 児童

新学期になって、新しくなったものがたくさんありますね。新しい教科書、ノート、上ばき、仲間、先生。新しいものに囲まれて「今年もがんばるぞー」と気持ちも新たに、新学期をすごしているにちがいないと思います。そして、なんととってもこの春に新しいものといえば新校舎です。詠み手の児童だけでなく二年四組五組のみなさんも同じように、やる気いっぱいなんだろうなと嬉しくなりました。

たてわり出発式

たてわり掃除が始まる前に、たてわり出発式を行いました。1年生から6年生までの班の仲間と自己紹介を行い、「ハンカチ落とし」やトランプ等で仲良くなりました。今後、掃除だけでなく、「はちの子デー」の行事等で親睦を深めていきます。



ペア学年で新体力テスト

1・6年生と2・5年生がペア学年で交流しながら、6月6日（木）に新体力テストを行いました。高学年の児童は、低学年の児童にやり方のお手本を見せたり、コツを教えたり、記録を記入したりしながら、優しく接することができました。低学年の児童も、高学年のお兄さん・お姉さんを頼りにしながら、場所の移動もスムーズに新体力テストを実施することができました。これからもたてわり活動を通して、リーダーを育成するとともに、人と関わる喜びを経験する場を創っていきます。



3年自転車安全教室

6月17日（月）に広島東警察署や広島東交通安全協会、府中町交通安全推進隊の方から自転車の安全な乗り方について教えていただきました。自転車は右側からではなく左側から乗ること、必ず後方を確認してから走り始めること、踏切では自転車を押して渡ることなど、自転車のルールを教えていただいた後、実際に自転車に乗って学習を進めました。ご家庭でも、自転車の安全な乗り方について話し合ってくださいね。



第1回クラブ活動

今年度初めてのクラブ活動を6月19日（水）に行いました。本校では18種類のクラブ活動があり、4年生以上が参加します。18のうち地域のサポーターの皆さんにゲストティーチャーとして来ていただいているクラブは、折り紙、絵手紙、モルック、環境、消しゴムはんこ、手話、手芸クラブです。早速、教えていただきながら活動を行いました。異学年や地域の方々との交流を通して、楽しく活動するとともに、協力し合う態度が育ってほしいと願っています。



お願い

7月12日（金）に犯罪防止教室を行います。低学年は万引きの防止、高学年はスマートフォンやインターネットでのトラブルについて学習します。学習後、児童が犯罪防止教室学んだことについて振り返りを書き、家庭にも持ち帰ります。持ち帰った振り返りを読み、家庭での話題にさせていただけたらと思います。

また、お子さんにスマートフォンを持たせておられるご家庭は、これを機に、是非、スマートフォンの使い方について話し合ってください。



第1回学校運営協議会

6月12日（水）に、令和6年度第1回学校運営協議会を開催しました。学校運営協議会は、地域・保護者の代表の方に学校運営に参画していただき、学校の取組や取組の進捗状況、地域や保護者との連携について協議します。地域と学校が同じ方向目標をもって、力を合わせて子供達を育むための仕組みです。

今回の学校運営協議会では、委員の皆様にご授業参観をしていただいた後、今年度の学校の取組について説明をさせていただき、承認をいただきました。委員の方からいただいたご意見の一部をご紹介します。

- 一方的に教師が話すのではなく、目的意識をもって学習させている。児童に自分の考えをもたせ、言葉で表現させる授業だった。
- 児童の目線に教師が下りている学級は集中して学んでいるし、楽しそうである。
- 先生方の児童に向ける眼差しが変わってきている。
- 学校運営の方針に対して価値観を共有していくことが重要である。
- 子供自身が「学校に行きたい」「楽しい」と思えるよう親もしっかり声をかける必要がある。
- 体（体幹）を育てることが大切。これは学校だけでなく家庭でも行うことが大切。大人の在り方が大きい。タブレットやスマホ等、指先だけの動きが増している、スマホを見るよりも外で子供と一緒に遊ぶことも大事ではないか。

令和6年度 学校評価

今年度の経営目標と具体的な方策・指標です。学校評価は、教育活動の充実を図るため、客観的・他面的な視点で学校のさまざまな取組について評価をし、教育活動を充実の図ることをねらいとして実施します。保護者の皆様にも、学校評価のためのアンケートを実施させていただきますので、ご協力をお願いします。

学校教育目標	自ら伸びる 「問い直しを」を大切にして、教育活動に山場を創り、「生きた言葉」で自覚化して、他者と関わり協力して乗り越えていく
経営理念 ミッション ビジョン	「学校は子どもが育つ土壌である」(自ら育つ意思の形成をなす土壌) 【使 命】地域と共に児童も大人も共に成長していく機会・場を創造する学校 【経営展望】「教師こそ最大の教育環境」を自覚し、日々の業務の充実と研鑽に励む

A 中期 (3年間) 経営目標	B 短期 (今年度) 経営目標	C 目標達成のための方策	主な成熟度		D 評価指標	目標値 (%)
a 「生きた言葉」が構築される学年経営	学習集団として成熟していき	<ul style="list-style-type: none"> ・「はちの子の心得」を軸に学級会での話し合い活動を深化させていく。 ・「じまんの俳句」を軸に暮らしの事実を価値付けようとする意識を高めていきながら、児童相互に作品を評価し合うことで互いの良さを認め合う関係づくりを構築していく。 	4段階	児童も教師も意思を持ち、「生きた言葉」を交流しながら問い直すことで新たな山場が創られていく学級。	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校楽しい」と学級集団における適応感 ・「はちの子の心得」振り返りの記述が学年の目指す姿を現している 	80%
			3段階	児童が事実目に向けながら「生きた言葉」を生み出し、教師はその熱を感じ取って価値付けを重ねている学級。		80%
			2段階	「生きた言葉」で語ろうとしている児童を教師が大切にしている学級。		
			1段階	教師が発言や評言を促している学級。		
b 「問い直し」のサイクルを意識した授業を構築する研究推進	教師の目を磨き合う職員室文化づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・協働的な学びと個別最適な学びの一体化をめざした授業研究 ・教員の主体性に委ねたSD研修 ・教員の得意を生かす教科担任制の充実 	4段階	児童が学び方を調整・選択しながら自分のタイミングで問い直しを重ね、次の学習や生活に生かしていく授業(自ら学びを創っている授業)	<ul style="list-style-type: none"> ・他者とともに学び合う楽しさを味わう教師の割合 ・学力調査の全国平均以上の児童 ・「学校楽しい」と学習意欲 	90%
			3段階	学びのねらいに沿って児童が自分の思いや考えを自由に表現し高まり合う授業(教師が児童に学びを託す授業)		80%
			2段階	児童の意欲を喚起する教材で授業に驚きをもたせ、児童相互が問いを深めている授業(教師の思いがある授業)		80%
			1段階	教師の発問によって児童が答えを探し出している授業(教科書に沿った授業)		
c 自己認識を問い直す行事の創造	前学年から引き継がれた可能性を現学年で伸ばす行事づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダー育成とともに人と関わる喜びを経験する縦割り活動(異年齢交流) ・中学校の自治活動を見据えた児童会行事 ・取り組み方を児童に委ねた学校行事 	4段階	各種活動や行事を自らの殻をやぶり自らを成長させていく山場ととらえ、次の活動に生かしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校楽しい」と自己肯定感 ・「はちの子の心得」振り返りの記述が自己の目指す姿を現わしている。 	80%
			3段階	自分の強みや弱みを認識し、自ら選択した役割をやり遂げている。		80%
			2段階	各種活動や行事に、相手の気持ちや立場を理解し協力して参加している。		
			1段階	各種活動や行事にまじめに参加している。		
d 児童や大人の集いが充実する環境づくり	充実 コミュニティ・スクール活動の	<ul style="list-style-type: none"> ・地域とともにある教育活動を全学年設定(カリキュラム・マネジメント) ・保護者と教師が共に学び合う機会の創造 ・コミュニティ・スクールを核とした地域行事の創造 	4段階	大人も児童も地域の一員として、地域に愛着や誇りをもつ状態。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動の満足度(保護者アンケート) ・大人が集う活動の満足度(保護者アンケート) 	85%
			3段階	大人も児童も地域の一員として学校行事や地域行事を通して関わり合い、学び合う状態。		70%
			2段階	保護者や地域が「自分に何かできることはないか」と当事者意識をもち、活動に参加している状態。		
			1段階	保護者や地域が各種たより等を見てサポーター活動に参加し、学校の様子を知る状態。		

※ くわしくは、本校HPにも掲載していますので、ご覧ください。